



JR 駅前に広報ブースを開設

自衛隊東京地方協力本部新小岩募集案内所（所長 高倉2陸尉）は、6月22日と24日の2日間、JR新小岩駅北口及び南口に広報ブースを開設し、幅広い年齢層を対象とした自衛隊募集及び広報活動を実施した。

広報ブースでは、新型コロナウイルスへの対応や令和2年7月の豪雨災害に係る災害派遣での自衛隊の活動写真展示、海上自衛官による手旗信号展示等を実施し、事務所案内及び募集種目を紹介したチラシなどを配布して自衛隊を広報した。

ブースには地元の高校生や募集対象年齢の子供を持つ保護者など多くの方々が足を止め、採用種目など、自衛隊に関する認識を深めた様子で来訪者からは「自衛隊のイベントに参加してみたい」「自衛隊を受験してみたい」等の感想が聞かれた。

新小岩募集案内所では今後も地域に密着した募集・広報活動を積極的に実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛隊募集業務に繋げるとしている。

新小岩募集案内所では今後



都立高校のインターンシップへ協力

自衛隊東京地方協力本部足立地域事務所（所長 松本2陸尉）は、7月9日、練馬駐屯地において、足立工業高校2学年生10名に対してインターンシップ支援を実施した。

当日は、「自衛隊の概要説明」、「車両整備工場の案内」、「オートバイの訓練展示」、「第1普通科連隊新隊員後期教育隊の訓練見学」に加え、静岡県熱海市での災害派遣活動について説明があり、参加した生徒からは、「それぞれの部隊が役割を行い、組織が成り立っている」、「戦うだけでなく、整備や情報など多くの仕事があることを知れた」、「自衛隊は怖いイメージであったが、フレンドリーでいい職場だと思った」等の所見があった。

また、担当教諭からは、「緊急事態宣言発令により、実施に不安があったが、自衛隊の適切な対応に感謝する」との言葉が聞かれた。

足立地域事務所では、今後も積極的に採用広報活動を実施し、自衛隊への理解を深化させるとともに、一人でも多くの方に自衛隊に興味をもってもらうよう努力を積み重ねていくとしている。

